

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

<p style="text-align: right;">受付印</p> <p>収入印紙 円</p> <hr/> <p>予納郵便切手 円</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 調停</p> <p>家事 申立書 事件名 (遺産に関する紛争)</p> <p><input type="checkbox"/> 審判</p>
	<p>(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)</p> <p style="text-align: right;">(貼った印紙に押印しないでください。)</p>

<p>○ ○ 家庭裁判所</p> <p style="text-align: right;">御中</p> <p>令和 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日</p>	<p>申立人</p> <p>(又は法定代理人など)</p> <p>の記名押印</p>	<p>甲 野 一 郎</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">印</div>
--	--	--

添付書類	<p>(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)</p>	<p>準 口 頭</p>
------	---	--------------

申立人	本籍 (国籍)	<p>(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)</p> <p style="text-align: center;">都 道</p> <p>○ ○ 府 県 ○○市○○町○番地</p>	
	住所	<p>〒 ○○○ - ○○○○</p> <p>○○府○○市○○町○丁目○番○号 ○○マンション○○○号</p> <p style="text-align: right;">(方)</p>	
	フリガナ 氏名	<p>コウノ イチロウ</p> <p>甲 野 一 郎</p>	<p>昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生</p> <p>平成 (○ ○ 歳)</p> <p>令和</p>
相手方	本籍 (国籍)	<p>(戸籍の添付が必要とされていない申立ての場合は、記入する必要はありません。)</p> <p style="text-align: center;">都 道</p> <p>○ ○ 府 県 ○○市○○町○番地</p>	
	住所	<p>〒 ○○○ - ○○○○</p> <p>○○府○○市○○町○丁目○番○号</p> <p style="text-align: right;">(方)</p>	
	フリガナ 氏名	<p>テイムラ ウメコ</p> <p>丁 村 梅 子</p>	<p>昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生</p> <p>平成 (○ ○ 歳)</p> <p>令和</p>

(注) 太枠の中だけ記入してください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申 立 て の 趣 旨

別紙財産目録記載の土地・建物が、被相続人亡甲野太郎（本籍〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地、最後の住所は相手方に同じ）の遺産であることを確認する調停を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人と相手方は、被相続人亡甲野太郎の長男と長女であり、被相続人の相続人は、申立人と相手方のみです。被相続人は、令和〇〇年〇〇月〇〇日に死亡し相続が開始しました。
- 2 被相続人は、亡くなる数年前から、認知症になり、亡くなるときには自分で財産の管理もできない状態でした。
- 3 別紙財産目録記載の土地・建物は、被相続人が亡くなる直前に、相手方が、被相続人の実印を持ち出し、自己の名義に変更したものであるにもかかわらず、相手方は、これを自己の財産であると主張しています。
- 4 そこで上記土地・建物が被相続人の遺産であることの確認を求めるため、この調停を申し立てます。

(別紙第1)

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

財 産 目 録 (土 地)

番号	所 在	地 番	地 目	面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	〇 番 〇	宅地	平方メートル 150 00	

財 産 目 録 (建 物)

番号	所 在	家 屋 番 号	種 類	構 造	床 面 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目 〇番地	〇番〇	居宅	木造かわらぶ き平家建	平方メートル 90 00	